

(共有コード No. mbQsXxwjHUvPfNCQRJo6RQy)

授業の詳細がわかる『授業デザイン案』（小学6年生国語）

～「鳥獣戯画」の解説を読み取り、日本文化を発信する実践～

1 単元名

『鳥獣戯画』を読む」「調べた情報の使い方」「日本文化を発信しよう」
(光村図書「国語 六 創造」)

2 単元の指導目標

- (1) 目的に応じて、文章と図表を結びつけながら必要な情報を見つけたり、論の進め方について考えたりすることができる。
- (2) 引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができる。
- (3) 文の中での語句のかかり方や語順、文と文との接続の関係、話や文章の構成や展開、話や文章の種類とその特徴について理解することができる。

3 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現等	主体的に学習に取り組む態度
<p>・文の中での語句のかかり方や語順、文と文との接続の関係、話や文章の構成や展開、話や文章の種類とその特徴について理解している。((1)オ)</p>	<p>・「読むこと」において、目的に応じて、文章と図表を結びつけながら必要な情報を見つけたり、論の進め方について考えたりしている。(C(1)ウ)</p> <p>・「書くこと」において、引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。(B(1)エ)</p>	<p>・文章と図表などを結びつけて必要な情報を読み取っている。</p> <p>・構成を工夫して書き表すことに粘り強く取り組み、学習全体の見通しをもって日本文化を発信する学習に取り組んでいる。</p>

4 本単元の POINT

本単元は、『鳥獣戯画』を読む」「調べた情報の使い方」「日本文化を発信しよう」の3教材で構成されている。「鳥獣戯画」を読む」では、小学校学習指導要領及び小学校指導要領解説国語編の〔思考・判断・表現〕「C 読むこと」(1)「ウ目的に応じて、文章と図表などを結びつけるなどして必要な情報を見つけたり、論の進め方について考えたりすること。」を受け、筆者の主張やものの見方、論の展開を読み取る学習を通して、自分のものの見方を広げていくことをねらいとしている。また、「調べた情報の使い方」及び「日本文化を発信しよう」では、「B書くこと」(1)「エ引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わるように書き表し方

を工夫すること。」を受け、自分の選択した題材について、文章と絵や図表の結びつきを意識し、構成を工夫することによって、説得力のある文章を作成することをねらいとしている。

5 単元（全 11 時間扱い）

（1）本時（第 4 時）までの学習記録

第 1 時 『鳥獣戯画』の学習の見通しを持ち、教材文を読み、語句の意味調べを行いながら、学習の計画を立てる。

第 2・3 時 筆者の「絵」や「絵巻物」についての評価を読み取ることができる。

（2）本時について

●本時

第 4 時

●目標

筆者が読者に自分の考えを伝える際に用いた、表現方法の構成や工夫との関わりを捉えることができる。

●本時の学習計画

- ・筆者の表現の工夫について、「論の展開」「文末表現の工夫」「絵の示し方」に分かれ、気づいたことを書き出す。

- ・表現や構成の工夫について、同じ視点を選んだ人とグループを作り話し合う。

- ・次の時間に異なる視点を選んだ人とグループを作って交流ができるように、同じ視点を選んだ人と考えを練りあげる。

●本時の評価規準

筆者の伝えたいことと、表現方法の構成や工夫との関わりを捉えている。

（3）本時後の学習計画

第 5 時 表現の構成や工夫について、異なる視点を選んだ人とグループを作り交流する。

第 6 時 学校図書館で日本文化についての本を探し、表現の工夫について話し合う。

第 7・8 時 パンフレットの内容について、ワークシートを活用しながらグループの考えを具体化する。

第 9・10 時 日本文化の魅力について得た情報から、パンフレットを工夫して作成する。

第 11 時 お互いのパンフレットを教室内に掲示、または SharePoint を活用して共有し、他の人が作成したパンフレットの工夫について伝え合う。

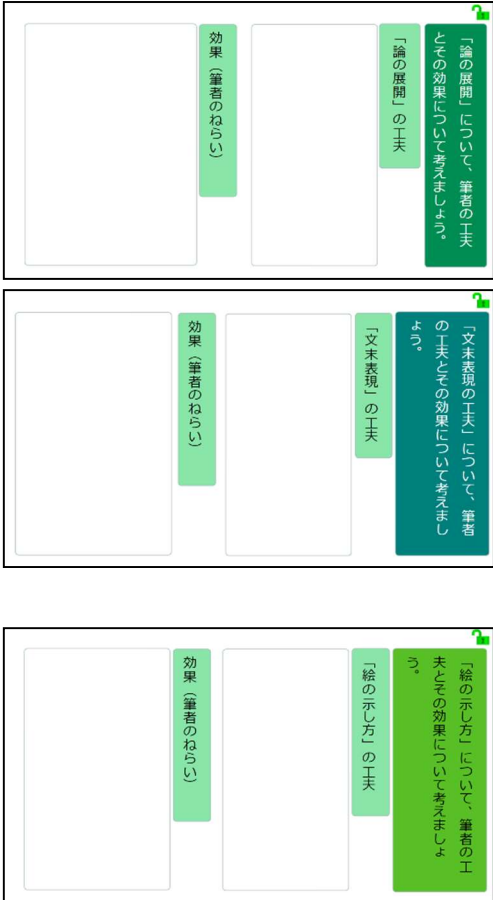
6 本時（全 11 時間中の 4 時間目）

（1）本時の目標

筆者が読者に自分の考えを伝える際に用いた、表現方法の構成や工夫について気づくことができる。

(2) 本時の展開

時間	○学習内容 ・学習活動 T：教師 C：子ども	○指導上の留意点 ★評価	ミライシード活用 POINT
導入 (5分)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 前時までの学習を振り返る。 <p>T：前回の学習を振り返りましょう。</p> <p>C：筆者は『鳥獣戯画』に対して、「絵」と「絵巻物」2つの視点で着目し、評価していた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 本時のめあてを確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【めあて】筆者が自分の考えを読者に伝えるために用いていた工夫について考えよう。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 掲示物を用いて、前時までの学習を振り返る。 ○ 前時までの学習の記録は、学習支援ソフトやSharePointで自由に確認できるようにしておく。 	

<p>展開 (30分)</p>	<p>・筆者の表現の工夫について、「論の展開」「文末表現の工夫」「絵の示し方」に分かれ、気づいたことをムーブノートに書き出す。</p> <p>T: 筆者は、自分の「絵」や「絵巻物」に対する評価を伝えるために、どのような工夫をしているのでしょうか。</p> <p>C: 漫画やアニメのことを挙げている。</p> <p>C: 文が「返し技。」や「かわず掛け。」といった言葉で終わっている。</p> <p>C: もともとは1枚の「絵巻物」を「絵」に分けている。</p> <p>T: それぞれの工夫があることで、どのような効果を生み出しているのでしょうか。視点を選んで、表現の工夫とその効果について読み取りましょう。</p> <p>C: デジタル教科書に書き込みながら探してみよう。</p> <p>C: 筆者の書いていることを実際にやってみよう。</p> <p>C: 「絵巻物」と教科書を見比べながら考えてみよう。</p> <p>・表現や構成の工夫について、同じ視点を選んだ人とグループを作り交流する。</p> <p>T: 同じ視点を選んだ人と、読み取った表現の工夫と効果について交流しましょう。</p> <p>C: 話し言葉のように語りかける表現を多く使うことで、読者が考えるきっかけとなり、筆者</p>	<p>○表現の工夫について、ムーブノートを使用し、児童の発言を引き出し、整理することで「論の展開」「文末表現の工夫」「絵の示し方」の3つの視点を示す。</p> <p>○児童自身に3つの中から視点や活動を選ばせる。</p> <p>○必要な児童にはイメージマップやチャートを用意し、気づいたことや読み取ったことを視覚的に整理できるようにする。</p> <p>○必要に応じて、「絵巻物」やデジタル教材、筆者以外が『鳥獣戯画』について記した文章などを用意する。</p> <p>○次時で異なる視点を選んだ人に自身の選んだ視点での学びを伝えられるよう、同じ視点を選んだ児童で考えを練り上げさせる。</p> <p>○よい伝え合いができているグループを称讃し、価値づける。</p> <p>○イメージマップやチャー</p>	<p>○共有したカード</p>  <p>The image shows three cards, each with a title and a description of an effect. The first card is titled '効果(筆者のねらい)' and describes the effect of '論の展開' (Development of Argument). The second card is titled '効果(筆者のねらい)' and describes the effect of '文末表現の工夫' (End Expression Technique). The third card is titled '効果(筆者のねらい)' and describes the effect of '絵の示し方' (How to Show Pictures).</p>
---------------------	--	--	--

	<p>の主張がより伝わる。 C:「絵巻物」を「絵」に分けることで、筆遣いや表情にも注目させたかった。</p>	<p>トを用いながらそれぞれの考えを整理させる。 ★筆者の伝えたいことと、表現方法の構成や工夫との関わりを捉えている。</p>	
<p>まとめ (10分)</p>	<p>・本時の学習を振り返り、次時の見通しをもつ。 T:考えたことをノートにまとめましょう。次の時間は、ほかの視点を選んだ人と交流して、筆者の主張と、表現や構成の工夫についてまとめていきます。</p>	<p>○次時に向け、それぞれのグループでの話し合いの様子を共有すると共に、全体で振り返りを発表させることで価値づける。</p>	

(3) 授業評価の観点（事後検討会の議題例）

- ・特別支援教育の視点を取り入れた環境づくりの工夫は、児童の特性を生かす指導の上で有効だったか。
- ・学習展開の工夫は、児童が主体的に取り組み、多様な見方、考え方を働かせていく上で有効だったか。
- ・学習計画の工夫は、体験とタブレット端末の活用との相互のよさを取り入れたものであったか。